（様式２）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 副首都・大阪の確立、発展に向けた取組みについて |
| 日時 | 平成29年５月30日（火）　16時45分　～　18時20分 |
| 場所 | 大阪府庁　会議室 |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：池末特別参与  (職員等)：  副首都推進局事業再編担当課長、課長代理 |
| 論点 | ○消防のあり方  調査・分析の進め方について |
| 主な意見 | ・火災については、作戦によっても焼損面積等に差が生じることが分かってきたが、そのためにどこまでコスト（車両や人員）を掛けるべきか。東京と比較するなど、その判断材料を示すべき。  ・相互応援の実績は限定的であり、大きい地域で消防行政を行う方が、車両や人の最適配置が可能になる。訓練や人事交流などの面でも有利に働くように思われる。  ・救急に関して、発生場所や時刻の傾向を見て、それを踏まえて検討できればよいと思う。  ・救急通報があっても搬送に至らないケースが見受けられるが、それが改善できれば、パフォーマンスは相当上がる。これまでの取組みに加えて、何ができるのか検討できないだろうか。  ・火災と救急は分けて議論した方が良い。①リスク、②パフォーマンス、③アウトカムを整理して、検討をすすめるべき。 |
| 結論 | 特別参与のご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。 |
| 説明等資料 |  |
| 備考 |  |
| 関係部局  （室課） |  |